

第2回 学生・教職員FD活動交流会の実施結果について

学生・教職員FD活動交流会では、本学のFD活動への学生参画の促進と大学教育の活性化を図るために、本学においては、「優れた授業は教員だけでなく、参加するすべての構成員の高い意識があつて、はじめて成立するものである」ことを念頭において、教員と学生が学び合う環境を実現している授業を選定する仕組みを、学生と一緒に模索している。

《開催日時・場所》

令和元年9月19日（木）9：00～10：30
総合研究棟3階 中会議室

《会議形式》 ミーティング

《参加者》	18名	（内訳）	大学院学生	4名
			学部学生	2名
			教員	8名
			事務職員	4名

《実施内容》

1. ベストクラス選定手順の確認
2. 配付資料の「ベストクラス候補選定理由書」に基づき、候補科目について検討の結果、10科目全てをベストクラス選定候補として、9月27日開催のFD推進委員会に推薦することとなった。
3. FD活動交流会に参加する学生メンバーを増やす方法について全体で意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

【意見交換】

- ・FD活動に興味があるけれど、周りには活動していることを知らない学生が多い。また応募期限に間に合わず参加できない人もいたので、もっと大々的に広報すべき。
- ・時間的に余裕がないので、FD活動に参加できるか心配。Google フォームやQRコードなどを利用して、その場にいらなくても意見を言える機会の工夫があれば良い。
- ・学生同士の口コミや、先生からの声かけがあれば、どのような活動を行っているのか把握しやすい。
- ・クラス・コース単位でFD委員を選出する方法もよいのではないか。
- ・授業改善に興味のない学生はいないので、参加を強制しなくても人は集まると思う。
- ・現職院生や、教員の方々と話し合いをしなければならないので敷居が高いイメージがある。
- ・何も知らない学生からすると内容が前もって分かっているほうが参加しやすい。
- ・FD活動交流会の開催場所を例えば、図書館のPAOなど、ほかの学生が見える場所で行うことにより、認知度を上げる。

4. 次回開催日については、後日、事務局から日程照会を行う。